

大阪市立榎本幼稚園学校協議会

1 総括についての評価

本年度の幼稚園運営の全体を通して、次の成果が見られた。

安全教育・防災においては、年間計画に沿って計画的にねらいをもって避難訓練を行ったことで、落ち着いて参加し自分で自分の命を守ろうという意識が高まった。

保育の充実と教員の資質向上においては、教員が園内研究保育や研修会への参加・他園や他校を参観し保育や授業を参観する機会を通して、自身の保育力の向上に向けて課題意識をもって取り組むことができた。

また園内環境を生かし、季節や発達段階・保育のねらいに合わせて遊びの場を整えたことで、子どもが自ら環境を作り出したり、友達と一緒に再構成したりしながら継続し目標をもって活動していく姿が見られ協同性が育まれた。飼育栽培の活動を通して、自然の不思議さや命の大切さに気付く機会となり心の育ちにつながった。

異年齢交流については、新型コロナウイルス感染症の感染予防に努めながら交流の経験を重ねることで意図的な活動に留まらず、日々の遊びの場での自然な異年齢交流が見られるようになり人に対する親しみの気持ちや関わる力が育まれた。

規則正しい生活習慣においては、新型コロナウイルス感染症予防の指導と並行し、毎月、時期やねらいにあった保健指導を行い、その様子を保健だよりやホームページに掲載した。外部講師を招いての食育指導も幼児向け・保護者向けそれぞれに実施し、家庭と連携することで子どもたちに指導した内容が定着していった。

絵本や物語に親しむ環境や取り組みについては、絵本貸し出しを再開し親子で絵本に触れる機会を工夫することで、子どもたちの興味・関心が高まった。

地域に開かれた幼稚園の教育内容の発信については、創立50周年事業をコロナ禍で実施方法を模索しながら考えを出し合い、子ども、保護者、事業委員・地域の方々、教職員で今年度でしか成しえない事業を実施できたことが成果として大きかった。

1年間の取り組みで、子どもの実態や目標に合わせて教育活動を充実させることができた。

今後も、幼稚園教育要領や就学前教育カリキュラムを活用して教育内容を充実させ、安心・安全な環境の中で心豊かに力強く成長していくよう教職員が連携し、子どもたちの実態に即した教育活動に取り組んでいきたい。

2 令和4年度目標ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】**学校園の年度目標**

○保護者アンケート調査で、「幼稚園は、防災・安全教育に積極的に取り組んでいると思いますか」の項目に肯定的な回答を75%以上にする。

(カリキュラム改革関連)

評価 A 目標を上回って達成した

○保護者アンケート調査で肯定的な回答をする割合が97%であり、達成評価は妥当である。幼児は実際の体験があり意識づくため、小学校との合同避難訓練など、今後も継続してほしい。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

○保護者アンケート調査で、「お子さまは、園生活で身近な環境に関わって心を動かし、主体的に生活を楽しんでいると思いますか」の項目に肯定的な回答を75%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

○保護者アンケート調査で、「お子さまは、園生活や保健指導を通して、基本的な生活習慣が身に付いてきたと思いますか」の項目に肯定的な回答を75%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

評価 A 目標を上回って達成した

○保護者アンケート調査で肯定的な回答をする割合が97%であり、達成評価は妥当である。子どもたちが活動できる環境をよく整備している、今後も継続してほしい。

○保護者アンケート調査で肯定的な回答をする割合が97%であり、達成評価は妥当である。感染対策等に大変よく気をつけている、今後も継続してほしい。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

○保護者アンケート調査で、「お子さまは、絵本を身近に親しんでいますか」の項目に肯定的な回答を75%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

○保護者アンケート調査で、「幼稚園は、ホームページや保育ドキュメント・配布物などを通じて、教育内容や取組を分かりやすく発信していますか」の項目に肯定的な回答を75%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

評価 A 目標を上回って達成した

○保護者アンケート調査で肯定的な回答をする割合が97%であり、達成評価は妥当である。今後も継続してほしい。

○保護者アンケート調査で肯定的な回答をする割合が97%であり、達成評価は妥当である。今後も継続してほしい。

3 今後の学校運営についての意見

幼稚園の支え、保護者の支えがあり、子どもたちが大変成長している。

小中学校との連携について今後も積極的に続けて欲しい。